



尚 操



〈発行所〉

鳥取県立倉吉西高等学校
尚操会
〒682-0925
鳥取県倉吉市秋喜20
倉吉西高等学校内
0858(28)-1811
印刷 勝美印刷(株)
0858(35)-4411

副会長新任の挨拶



尚操会副会長 井手添 誠
(倉吉西高二十六回)

この度、尚操会の副会長を拝命いたしました。倉吉西高等学校26回卒の井手添と言います。よろしくお願ひします。

私事ですが、仕事は設計事務所をしております。2016年に尚操会は、創立百周年を迎えましたが、その準備委員会が立ち上がった時期に、倉吉西高等学校の管理特別教室棟、教室棟、記念館の耐震補強設計をしておりましたので、「創立百周年記念事業の設計をボランティアでできるだろうか？」と同級生から無茶を言われ、実行委員会に参加させていただくこととなりました。その後、尚操会監事をさせていただいておりましたが、昨年、役員に欠員ができましたので、交代として、副会長を務めることになりました。

卒業は昭和54年ですから、高等学校を卒業して、40年になりました。倉吉西高等学校は、それこそ、遠い思い出のように感じておりましたが、役員会などで学校を訪問したり、尚操会総会で校歌を歌うたびに少しずつ、気持ちが戻ってくるように感じます。尚操会の役割は、卒業生の皆さまと倉吉西高等学校を繋ぐことだと考えますので、この記事を読んだ皆さまは、毎年行っております尚操会総会に参加いただいて、是非、青春の思い出を復活させてほしいと思います。

副会長の職は、会員数二万人を擁する尚操会の歴史を考えますと、私では、力不足でありますし、身の引き締まる思いです。役職を全うできるように頑張りますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

花・水・木

「じーっつづつうーのー光あまーねえーくうー」…私が最近、頻繁に口ずさむのが西高の校歌です。小学校の校歌は小さい頃のふんわりした思い出に、ふうーっと浸る時、ゆっくりしたテンポで歌います。中学のものは、多感な頃そのままの自分に還り、校舎・校庭の景色が今でもはつきり浮かびます。そして、西高の校歌は、私にとって自分を奮起させてくれる『応援歌』のようなものになっています。若い時よりも何故か還暦を前にした、ここ数年の方が出番回数が増えていて不思議な感じがしています。

記念すべき校舎移転は、私たちが一年生の時に行われました。余戸谷町の旧校舎から秋喜の新校舎まで、学生服のまま機を持って運んだ経験は、西高の後輩だけでなく、多くの方に伝えていきたいもののひとつです。あの様子は、是非とも航空写真に残しておいてほしかったと…。「石ころ拾いだけはしたけど、新校舎には入れなかった」と四級上の従姉は、いつも私に愚痴をこぼしています。多くの先輩方の大変な苦勞と少しばかりの嫉妬によって、新校舎の歴史は築かれている感じも感じています。

最後に、みなさんの記憶からは消えてしまっているらしい「蒜山さわらび寮」について触れたいと思います。

シンプルなログハウス風の建物は、入学直後のクラス親睦を目的に一泊合宿、部活動での使用等、色々なドラマを見守ってくれたのだろうか？と、今でもあの建物の事はとても懐しく想い出されます。いったい、どの辺りにあったのか？新たな興味がどんどん湧いてきます。辺り一面、黒ぼく土の大根畑だった「さわらび寮ポイント」探しをいつか実行してみたいと密かに企んでおります。

「あー栄光のときぞ来ぬうー」と口ずさみながら…。



西高を更に発展させていきたい

校長 稲毛 靖

平素から同窓生の皆様方には本校を様々な場面から支えてくださり、心から感謝申し上げます。

はじめに、今年度104回目の創立記念日を迎えました。記念事業として毎年行っているミニ講演会を6月15日(金)に開催しました。今年度も講師に藤井会長様をお招きしました。お話の前半は、本校の歴史やホームページ、毎年開催されている尚操会総会の幹事学年のことについて話されました。後半は、20年前話題になった日本初の「飛び級」で千葉大学に入学された佐藤和俊さんについて話しました。佐藤さんは、中学校で受けた数学の授業での先生の一言がきっかけとなって物理学の勉強を始められ、大学卒業後には研究職を目指されていたようですが、今はトラックの運転手をされているとのことでした。「人生はいろいろ、皆同じではない。健康で、自ら考え、出合いを大切にし、感謝して生きてほしい」と締めくくられました。会長様の言葉に込められた後輩への温かな思いが聞いています。お忙しい中、生徒のために貴重な時間をつくっていただ

き心から感謝申し上げます。

さて、本校は少子化の影響を受けて昨年度より1学年3クラス体制となり、全学年の生徒数は350人と小規模校になっています。平成24年度に作成された尚操会の会員名簿を見ると、昭和40年代前半の頃は普通科8クラス家庭科1クラスと記されていて、生徒数は最大で1400人を超える大規模校の時代を伺い知ることが出来ます。現在はクラス数が3分の1、生徒数でいえば4分の1程度になっていますが、小規模ながらも生徒たちは活発に学校生活を送っています。「学校で誇れるものは何か」と聞かれたら、「生徒が輝いていることです!!」と、私は迷わず答えています。

その理由として、まず、西高祭の開催が昨年度記念すべき第50回を数え、節目の年に相応しい意気込みと企画を見せてくれたことがあげられます。テーマを「Vertex」と命名し、名実ともに第50回の頂点を指すものでした。最近では一年前から企画の大枠を考えるなど、良き伝統を更に増幅させて引き継ぐとする意気込みは目を見張るものがあり、開催当日に行ったすべての企画がパワーアップしている。私の眼には映っていません。盛りだくさんの内容を手抜きすることなくやり切った姿は、50回の節目に相応しい取り組みであり、改めて「生徒の情熱が一丸となって成功へと導き、最高潮に達した」と、思わずにはいられません。

鳥取県学生寮

「清和寮」より

竹ノ内 誠一

倉吉西高等学校の校長を退任して、早いもので7年目になりました。校長として3年間の倉吉西高勤務を振り返れば、勢いのある高校づくりに教職員が一丸となつていろいろな企画に取り組みとともに、生徒たちも積極的に教育活動に参加していました。部活動も活発で、各種の大会で活躍していました。学校全体に活気があり、倉吉西高が輝いていました。しかし、遅くまで勤務する教員もいて、今も申し訳なく思っています。私は校長として、勤務時間管理が十分でありませんでした。当時の教職員には、感謝するとともに謝りたい気持ちでいっぱいです。最近の倉吉西高生の活躍を見聞きすると嬉しくなります。

この他にもそれぞれが所属している部活動で自分自身を大きく成長させる取り組みもなっています。中には、周りの人に楽しんでいただくこととする思いなど活動を行う意義を見せている部活動もあり、心豊かな生徒の育成に向けてまた一段レベルアップしたと感じています。

この頑張りのエネルギー源は、「チーム西高としての生徒の団結」に他ならないでしょうが、生徒の無限の可能性を感じるこ

学級減の状況でも、目標達成に向けて教職員の皆さんや生徒たちが踏ん張り頑張っている姿は頼もしいと感じます。今後も楽しみにしています。

現在、東京都豊島区目白の鳥取県学生寮清和寮(女子寮)の寮長として勤務して2年目になりました。妻が寮母として働き、夫婦で勤務しています。清和寮には、現在46名の寮生がいます。建物は地下1階・地上3階で小学校の校舎くらいの大きさです。塀が高く、セキュリティシステムがしっかりしています。

寮長や寮母の仕事は、毎朝8時前のゴミ出しから、23時の門限管理(女子寮なので管理を徹底しています)までが勤務です。昼間は、電話郵便宅配業者の対応、各種点検・修繕業者対応、消耗品・施設管理と清掃業務に追われます。

学生寮は、経済的負担を軽減

とができ、今後の成長がとても楽しみであり、諸先輩方が築き上げてこられた良き伝統を在校生が着実に引き継いでいます。

本校の取り組みは、ここ10年余りで時代の最先端を行くような内容へと移行してきています。私たち教職員も、百余年の歴史を意識しながら学校を更に発展させていきたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますようどうぞよろしくお願ひいたします。

して修学を助けるとともに、協調性を身につけるなど社会に有為な人材の養成を目的としています。さらに鳥取県へのUターンについて、鳥取県東京事務所や東京県人会が強力にバックアップしています。多くの方にこの有益な施設を活用していただければと思います。尚操会の皆様には学生寮の良さを知っていただきPRしていただければ幸いです。



クラス会だより

第12期同期会

私が大坂に嫁ぎ50年。私達の関西地区12期生の集まりを始めて38回が過ぎました。38枚の記念写真を眺めると、いかに年を重ねてきたか…。平成も30年で終わりを告げようとしている今、ひとり静かに胸に移り行くものを感じながら、次の始まりを待っています。人生100年時代、新しい年号と共に、友との縁を深めてゆきたいものです。

12期生 山内 和子



関東支部再開に向けて

現在関東支部は休止しています。皆様の中で、再開に向けお世話していただける方、或いは、情報提供などご協力していただける方は、事務局まで連絡してください。よろしく願います。

寄稿文

「あの夏の日 失敗おめでとう」

第31回生 伊藤 等 (昭和58年度卒業生)

昭和57年の7月、当時2年生の私は野球部のエースとして鳥取市営美保野球場のマウンドにいました。

開幕日第2試合、対戦相手は鳥取工業高校。5月の練習試合で9対2と勝利している私としては相性が良い相手です。創部2年目の我がチームは3年生の吉田主将に1、2年生主体のメンバリーで有りました。念願の公式戦初勝利を目指して挑みましたが、2対7と敗れてしまった。敗因は私の不甲斐ないピッチングだった事は言うまでもない。夏が終わり新チームになって調子が上がらず、いやここが実力の頂上だったかもしれない。翌秋季大会は後輩にマウンド譲り、念願の創部初勝利を上げました。翌年の春季大会は何と準優勝で山陰大会に出場しました。皆も甲子園はそう遠くないと感じた頃でした。ある日、監督に職員室に呼ばれ「日本一のバッティングピッチャーとしてチームを支えてくれ」と言われました。返事は0.1秒でYES！内面はショックでしたが、無我夢中に練習にピッチャーグループの年長者としての役割を果たしました。これは後に社会で出てからチームの中の自分の役割、それが大切な事に気づきました。最後の夏季大会はプロも注目していた主将の

山脇君の活躍もありましたがベスト8で終わってしまいました。創部3年目に「強くなった西高」といろんな方に声をかけられました。

西高野球部の歴史は昭和56年(1981年)1月に硬式野球部が発足され、野球部誕生を牽引してなのか男子生徒が100名近く入学(定員250名)し、女子高のイメージを払拭して学校内では「西高ムード打破」の言葉をよく耳にしました。初代監督にはプロ野球選手の小林繁投手を育てた牧野先生が就任。前身の軟式野球部からの2、3年生が残り21名で野球部がスタートしました。創部設立に間に合わず卒業された先輩、関係者の皆様がこの伝統の礎を築かれ多くの苦難を乗り越えて「硬式野球部が誕生」したと聞いています。現在まで37年間倉西野球部の歴史、伝統を繋いで下さった指導者の方々をはじめ、関係者各位、選手たちに感謝を申し上げます。

仕事は憧れであった広告代理店勤務の後、現在倉吉の印刷会社で役員として勤務しております。3年前の創立百周年は縁あって記念誌、DVD作成に携わることが出来き、母校の歴史に触れる喜びと重責を痛感しました。

「失敗おめでとう」という言葉があります。「失敗」の反対は「成功」です。しかし「成功」の反対は「失敗」ではなく「何もしないこと」です。失敗という経験を積むこと

によって、より新しいことができます。挑戦していくことが成功へと導いてくれます。まさにあの夏の失敗の思い出が自身の成長に生かされていると実感しています。

現在、野球部は毎朝の清掃活動を行いながら心を磨きその戦う心を作っていると聞いています。その志で「チーム西高」の一つのポジションの役割を果たして下さい。

そしていつかは甲子園の舞台に立つことを願っています。



永田あおいプロ激励会

2018年3月1日 倉吉シティホテルで開催された永田あおいプロ(倉吉西高53期、平成21年3月卒)後援会主催の激励会に出席しました。

尚操会として、できる限りプロゴルフアワード永田あおいプロのサポートをしたいと考えています。会員の皆様も大会会場に足を運んでいただき、応援お願いいたします。

皆様の声援を力に変えて、上位入賞を目指してあげると信じています。

頑張れ、永田あおいプロ！
尚操会会長 藤井 幸博



～プロフィール～
永田あおい (ナガタ アオイ)
□ 生年月日: 1988/2/10
□ 出身: 鳥取県倉吉市
□ 身長: 158cm 体重: 54kg 血液型: A型
□ 所属: (株)チュウブ
□ 出身高校: 鳥取県立 倉吉西高校
□ 出身中学校: 倉吉市立 鶴川中学校
□ 出身小学校: 倉吉市立 上小鴨小学校
□ クラブ活動歴: 少年野球 小学校5年～6年まで
バスケットボール 小学校3年～中学校3年まで
高校時代はゴルフとソフトボールを少々。
□ ゴルフクラブを初めて握ったのは、中学2年の体育の授業で。倉吉ゴルフセンターでの練習は、中学3年から。

小さな体からは想像できないほど豪快なドライバーショットを放ち、攻めのゴルフを展開する。人呼んで「鳥取バーディー娘」。
2008年にプロテスト合格。2009年はレギュラーツアーの「富士通レディース」で10位に入り話題となる。2011年はステップアップツアーの「アデオカップ」「山陽新聞レディース」で2度の優勝を果たしステップアップツアー年間賞金女王に輝く。
2013年はステップアップツアー「京都レディースオープン」で優勝。
2016年「アクサレディスゴルフトーナメント in MIYAZAKI」においてレギュラーツアー自身最高の3位となる。
2017年ステップアップツアー「ツインフィリーズレディーストーナメント」で4度目の優勝を飾る。
「賞金女王を目指し、海外でもプレーしたい」との気概で練習に励む日々。
2008年のプロデビュー時から、株式会社チュウブ(鳥取県琴浦町)がスポンサーとなり、所属契約を結ぶ。
現在は、北神戸ゴルフ場と西神戸ゴルフ場を拠点に活動中。



LPGA入会: 2008年8月1日(第80期生)
家族: 両親、兄、祖父母
趣味: スノーボード マンガ DVD鑑賞
得意クラブ: ショートアイアン

事務局より

今年度の尚操会総会は、卒業後10年、30年というところで、平成元年、平成21年卒の学年に幹事学年としてお世話になります。総会以外でも同窓会、クラス会を開催されていることと思います。尚操会では同窓会、クラス会を開催されるにあたり、参加人数が10人以上であれば補助金を支給しています。また、クラス会の様子を会報に掲載し、たく思いますので、写真や原稿を送っていただければ幸いです。詳しくは尚操会ホームページの「同窓会・クラス会について」をご覧ください。

平成30年度 尚操会総会案内

と き 平成30年 8月19日(日)
 ところ 倉吉シティホテル 2F
 総 会 午後3時から
 講演会 午後4時から
 演題「支えることは、支えられること」
 ～福祉の現場力～
 講師 瀬尾 津喜恵 (せお・つきえ) さん
 記念写真撮影／懇親会 午後5時から
 会 費 3,000円

講師紹介 瀬尾 津喜恵 (せお・つきえ) さん



■プロフィール
 1970 倉吉西高校卒業 (17期生)
 1986～ 社会福祉法人 敬仁会 入職
 ル・ソラリオン、シルバー倉吉、ル・ソラリオン名和で勤務
 認知症指導者として研修に関わる
 多くの高齢者の方から教えをいただく
 2014～ 保育所 パパール園勤務
 保育所での生活も5年目に入り、「育つ環境づくり」に悩む日々。
 (資格：保育士、介護福祉士、介護支援専門員)

尚操会ホームページ紹介

<http://shosokai.info/index.html>

【公式】尚操会 | 鳥取県立倉吉西高等学校同窓会
上記のアドレスで下の尚操会トップページが開きます。



創立百周年記念誌
販売中です



創立百周年記念誌の購入を希望される方は、西高までご連絡ください。西高にて販売しております。
 ● 1冊 5,000円 (振込手数料・送料が別途必要)